

## ★自動調心ころ軸受の寿命計算

軸受が一定回転数（r.p.m）で回転している時には、軸受の寿命は時間で表わすほうが便利であり一般には寿命時間を用います。

$$L_h = 500 f_n \frac{10}{3}$$

$$f_h = f_n \frac{C}{P}$$

$$f_n = \left( \frac{33.3}{n} \right)^{\frac{3}{10}}$$

Lh：寿命時間（h）

fh：寿命係数

fn：速度係数

P：動等価荷重（kg）

C：基本動定格荷重（kg）

n：回転数（r.p.m）

また、軸受の選定にあたっては、軸の強度、剛性等によって必ずしも寿命時間だけを基準にできない場合もありますが、おおむね次の様の目安になっております。

2,000～4,000(h)	5,000～15,000(h)	20,000～30,000(h)	40,000～60,000(h)
ときどき使う	断続的に使う 常時フルには使わない	連続フル稼働	連続運転で重要なもの